

赤潮・貧酸素情報（12）

平成27年7月1日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

7月1日に有害プランクトン調査を行った結果、調査を実施したほぼ全ての漁港内で有害プランクトンのカレニア・ミキモトイが確認されています。

<有害プランクトンの状況>

- 苅田新港内でカレニア・ミキモトイの赤潮（底層で海水1m中に600細胞）が認められました。松山本港（表層380細胞/ml）及び苅田本港内（表層398細胞/ml）において同種が確認されました。また、調査を実施したほぼ全ての漁港内で同種が確認されています（吉富漁港除く）。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- カレニア・ミキモトイは、増殖初期は中層（主に5m層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。

<貧酸素の状況>

- 調査した漁港内では貧酸素は確認されませんでした。

<今後の状況>

- 今後、雨天の後、晴天が続けばさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない漁港内でも十分注意してください。
- 着色が認められていない漁港内でも魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

7/1調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	カニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	0	23.6	29.70	21
		B-1	23.8	29.44	17
②	恒見漁港	0	22.6	18.85	10
		B-1	23.4	30.02	34
③	松山漁港	0	23.7	26.14	380
		B-1	24.2	29.13	110
④	苅田新港	0	24.2	27.23	13
		B-1	24.4	30.58	600
⑤	苅田本港	0	23.9	19.60	398
		B-1	24.7	29.81	310
⑥	苅田南港	0	23.8	27.50	9
		5	23.9	29.83	13
		B-1	23.8	30.43	52
⑦	蓑島漁港	0	23.7	18.44	1
		B-1	24.1	29.30	1
⑧	稲童漁港	0	23.8	21.41	5
		B-1	23.9	30.16	44
⑨	宇島漁港	0	24.3	27.67	1
		B-1	24.1	28.43	0
⑩	吉富漁港	0	23.1	15.89	0
		B-1	23.7	23.61	0

